

Libra I on

<http://www.libra-sc.jp>

vol.20

りぶらいおん

特集：来館者 500 万人達成 対象者インタビュー



● あいち環境絵本平成 23 年度入選者インタビュー

● 外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会 Vol.2 結果発表！


岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ（愛称: Libra）は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。りぶらサポータークラブ (LSC) は、Libra の施設活用をサポートする活動をしています。





平成 23 年 12 月 24 日 来館者 500 万人達成 おめでとうインタビュー

岡崎市図書館交流プラザ Libra(りぶら)の入館者数が、クリスマス・イブの 12 月 24 日の午前 11 時に 500 万人に達し、柴田市長・米津芸術文化部長らの参加のもと、記念セレモニーが行われました。

節目の 500 万人目となったのは真伝町にお住まいの鈴木登さん、珠子さんご夫妻。前後該当者は、梅園町の伊与田さん親子、稲熊町の高須さん親子でした。りぶらサポータークラブからも山田美代子代表が記念品を贈り、インタビューをさせていただきました。



鈴木 登さん、珠子さん

りぶら来館 500 万人の大幸運を射止められたのは、真伝町からおみえになった鈴木登(のぼる・75 才)、珠子(たまこ・70 才)さんご夫妻です。

「本日はおめでとうございます、ご感想はいかがですか?」の問いかけに、奥さまの「びっくりした!」の言葉が終るやいなや、ご主人の登さんがぼそっとひと言「当たるなら、宝くじの方がよかった!」。これには、一同大笑い。緊張気味の雰囲気が一瞬に緩み、明るく楽しいインタビューになりました。

本日の来館目的は、奥様の本の返却にお二人でみえたとのことで、ご自宅のトイレにも本棚を備えているほどの愛読家ご夫婦で、りぶらにも足繁く来館されるとの事。奥さまの珠子さんは、本があればよく、ある物なら何でも借りるとおっしゃる猛読家で、特に東野圭吾などのサスペンス物がお気に入り。ご主人の登さんは、半村良のシリーズ物がお好きとの事でした。そんなお二人が、ともにおもしろいと思った本が、塩野七海の「ロー

マ人の物語」だったそうです。

「りぶらは、旧図書館に比べると駐車場も広くなり便利になりましたね。ただ、2 時間の駐車がちょっと」と、じっくり本を選ぶには時間が短いと感じられているようです。昔から本好きな奥様は、りぶらだけでなく、市民センターやシビックセンターの図書館にも足を伸ばして、本を借りられるそうです。

りぶらオープン前のワークショップにも参加された奥様は、本を読むだけでなく、視覚障害者のための拡大写本のボランティアをされていて、パソコンの前に座っている時間も多そうです。体を動かすことも必要と、10 年前からはご主人がやっている社交ダンスにも一緒に参加しているとか。

今回、来館 500 万人目に入場された鈴木さんご夫妻は、りぶらを愛される方としてふさわしいお二人でした。このようなりぶらファンの方々がさらに増えることを祈念し、インタビューを終えました。(Y&S)



伊与田 恵さん、樹くん

伊与田 恵(めぐみ)さんと樹(たつき)くん(5 歳)は、4 年前に三好町から岡崎に転居してきました。「こんな便利なところに図書館があり、とてもうれしいです。今日は借りている本を返しに来て、また借りて帰るつもりでした」とお母さん。

「普段は仕事をしているので、自分の仕事の休みを利用して訪れる事が多いですね。今、お腹に赤ちゃんがいて、樹を公園で遊ばせることが少なくなり、絵本を借りて読み聞かせをしています。今日は『浦島太郎』『11 ぴきの



ねこ』『かちかちやま』の本を返しにきました。今度は『桃太郎』と樹が好きな本を探していきます。

子どもが保育園に行くようになり、字を覚え絵を描くようになって、何か感性が豊かになっているように感じます。絵本はいいですね」と話していただきました。

本当におっしゃる通り、きっと素敵な感性が育まれているのでしょうね。インタビュー中、ちょっぴり退屈してしまった樹くんに感想を聞くと、「いつも図書館に来ているけど、こんなこと今までにないのでびっくり！ わけがわからないー！」と元気に応えてくれました。

お母さんも「びっくり！ でも本当に

ラッキーだね。これからも図書館を利用したいです」と話していただきました。

樹くんが、「この後クリスマスのプレゼントを買いに行くんだよ」と教えてくれました。「サンタさんに何をお願いしたの？」と聞くと、「仮面ライダーフォーゼドライバー！」と大きな声と最高の笑顔で答えてくれました。

余談ですが、桃太郎の話は、お母さんが子どものころに読んだ話と違うストーリーもあるのだそうです。桃の中から桃太郎が生まれないんですって?? びっくり！『桃太郎』のお話の読み比べも面白そうですね。

(m&u)



高須妙香さん、妃来ちゃん

クリスマスイブのこの日、本の返却のためにりぶらへ来ましたとおっしゃるのは、稲熊町在住の高須妙香（たかすたやか）さん・妃来（ひな）ちゃん親子。来館者 500 万人目に当たり「とてもびっくりしました！ うれしいです！」と驚いた様子のお母さん。その隣には、お母さんと目を合わせ、ニコニコと嬉しそうに笑う井田小 2 年の妃来ちゃんの姿がありました。

月に 1 ～ 2 度、土曜日に 2 人で子ども図書館を訪れては、本を 10 冊借りているそうです。その返却日の頃に再度来館して返却、そして新たに 10 冊を選んで帰る。最近はこれを繰り返す。今日は、偶然そのサイクル日に当たったようです。

借りる本は妃来ちゃんが気に入ったものの他、生後 5 ヶ月になる妹さんのために、絵本や紙芝居を借り、妃来ちゃん自身が読み聞かせや紙芝居をしてあげるとか。妹さんがそれをとても喜ぶのだとお母さんが話してくれました。大変妹思いのお姉さんの一面を持つ妃来ちゃんは、赤色が大好きで赤色の本をよく借りるとのこと、この日も妃来ちゃんの抱える大きな布バックには、返却を控えた赤色の本が入っていました。また、お母さんの手には可愛い表紙の紙芝居がしっかりと握られていました。

りぶらができてから図書館を利用する

ようになりました、というお母さんの妙香さんは、「子ども図書館は紙芝居の種類が豊富で、どれにしようか迷ってしまいます」と、嬉しい悲鳴をあげ、「これからも、りぶらでたくさんの本を借りて読みたいと思います」とおっしゃる、23 歳の大変お若いお母さん。

りぶらができてから本を好きになったという妃来ちゃんは、土曜日はお母さんと一緒に、日曜日は仕事がお休みのお父さんも加わり、3 人で来ることもあるとか。また、お爺ちゃんやお婆ちゃんと一緒に時は、子ども図書館ではなく、一般図書の本を借りたこともあるそうです。家族みんなとりぶらを訪れてはいろいろな本に触れている妃来ちゃんは、本とりぶらが大好きな女の子という印象でした。

ご家族全員でりぶらをご利用されている 3 世代家族の高須さん一家。まだ小さくて来館できない妹さんのために、乳幼児室をご案内させていただきました。月・金曜日は、「りぶらっこ・ふぁみりー」の託児（要予約）もあります。

最後に、クリスマスイブということで、赤い帽子とマントを着用しての記念撮影！ 赤が大好きという妃来ちゃんにとって最高の思い出になったのではないのでしょうか。(meihe)



りぶらいおん©LSC



平成24年1月21日 あいち環境絵本まつり開催報告 & 入選者インタビュー

愛知県と岡崎市の主催で、1月21日（土）に「りぶら」において、環境をテーマとした絵本を紹介する「あいち環境絵本まつり」と「あいち環境絵本」の入選者表彰式が行われました。りぶらのホールや会議室では、東海子どもの本ネットワークなどの読み聞かせや、岡崎市地球温暖化防止隊などのワークショップが開催され、多くの来場者が、環境について考え楽しむ機会になりました。

りぶらサポータークラブでも風つくりのブースを設け、「本de 寄付」の古本回収といきものみつけ隊の活動を行いました。また、「あいち環境絵本」の入選者3名の方々にインタビューをさせていただきました。



神戸洋美（文）さん・藤井章江（絵）さん：一般の部 大賞

平成23年度あいち環境絵本の一般の部の大賞は、神戸洋美（かんべひろみ）さん（文）と藤井章江（ふじいあきえ）さん（絵）の『もりのおくりもの』でした。

授賞式で堂々と読み聞かせをしてくださった神戸さんは、春日井市ひなご幼稚園の園長先生で、職員の藤井さんとの共作で、この「あいち環境絵本」への応募は3回目だそうです。

応募のきっかけは、園の行事として取り組んでいる猿投の森での自然体験会から、「猿投の森づくりの会」の方たちのご縁があったことです。園児への環境教育として、毎年11月の第2土曜日に、園外保育として希望者を募って猿投の森に出かけています。そこでの園児の様子や体験、森づくりの会の方たちのお話を元に絵本に仕上げました。

『もりのおくりもの』は、全くその通りのお話で、家族や幼稚園の友だちと森にでかけたゆうせい君が、森の案内人のおじさんと「家でどんぐりを育てて、その木を森に植える」という約束をします。木や小枝をつかった工作をしたゆうせい君たちは、森からたくさん贈りものをもらったような気がしてうれしくなりました。そして、どんぐりの苗を育てて「今度はぼくが森に贈りものをあげるんだ」というお話でした。藤井さんのいきいきとした表情の絵が、楽しさと親しみやすさを醸し出していました。

この受賞作を自费出版し、多くの方



の目に触れることで環境教育への取り組みを拡げたいとおっしゃる神部さんと藤井さん。次回作も楽しみです。（e3）



鬼頭真優さん：子どもの部 大賞

子どもの部大賞受賞者、鬼頭真優（きとう まゆう）さんは、豊田市立藤岡南中学校3年生の女の子。セーラー服で式典に臨み、大賞受賞作品を自身の朗読で披露してくれました。

受賞作品は『へっちゃら』。小さな男の子が普段の生活の中で小さなエゴを「へっちゃら！」と言って、次々と実践していくシンプルで可愛い作品。子供に分かり易く伝えたいという思いから

“とにかく簡単に！”を心がけたそうです。その構想から完成まで、約2週間を費やして仕上げた初絵本作品。

応募のきっかけは、中学校の担任の先生が偶然、旭高原で目にした絵本作品の募集のチラシ。夏休み前に興味のありそうな生徒たち数名に声をかけたところ、真優さんが即興味を示したようで、先生曰く「この子だけが飛びついた！」と。初めて描いた絵本で自信もなかっただけ



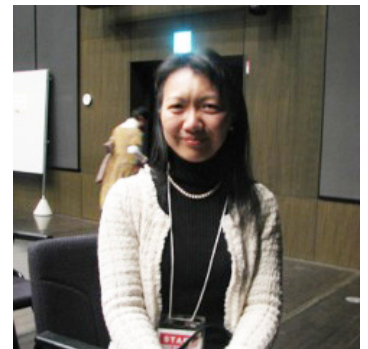
に12月に大賞受賞の知らせを受けた時は、「本当にびっくり!!」だったそうです。絵を観ることや作文を書くのが好きという真優さん。その長所をしっかりと把握されていた先生。会場には真優さんのお母さんとともに先生の姿もありましたが、生徒たちのお姉さんの存在のような素敵な関係に見えました。

タイトルの『へっちら』は、真優さんで自身がエコに対して“そう思えたらいいなあ”という思いでつけたそうです。そこで、「真優さんで自身、内容のような小さなエコを実践しているのでしょうか？」と素朴な疑問を投げかけてみました。すると、住環境等の問題でなかなか実践できない部分もあるようですが、「買い物の際はエコバッグを持って行きます!」と力強い返事が返ってきました。

優しい雰囲気を持ち、可愛い声で柔ら

かい話し方をされる真優さんですが、芯のしっかりとした女の子という印象でした。特に今回受賞の環境問題に対しては、小学校3年生の時に「愛・地球博」が開催され、そこでエコという言葉を知ったそうです。“地球が大変なことになっている!”と思ったとか。

『へっちら』は、真優さんの環境問題に対する強い思いが、大好きな絵と文に表現され最高の評価につながったのではないのでしょうか。次の作品について尋ねると、受験生ということもあり、今は特に考えていないとのことでしたが、評価していただき嬉しかったので、今回同様、エコをテーマとした違う内容のものに挑戦したいとこやかに語ってくれました。これを機に“絵本作家”という夢が膨らむ可能性も大いにあるのでは!? 楽しみです! (meihe)



都築美佳さん：一般の部 入賞

昨年も応募したという都築さん。見事、2回目で入選されました。

「地元岡崎で開催なのでより嬉しかったです。受賞しちゃった!!という感じでした」

都築さんは絵本をつくりはじめて、もう15年になるそうです。4ページのミニ本から布絵本まで、今までに制作した絵本は30冊にのぼるとか。子どもさんが小さい頃には、お誕生日プレゼントとしてそれぞれに手づくり布絵本をあげたりしたそうです。

——受賞作品は、都築さんの実体験に基づくものですか？

「はい。しょうた(主人公。小学1年生)は架空の人物ですが、ペピーノの苗を育てていく過程は実体験です。途中でペピーノにアオムシがついたのですが、その色がとにかくキレイで…。私は、幼少期を春日井市で過ごしたんですが、四季の移り変わりを感じたり、おばあちゃんと米や作物を育てて土となじんだり。そういう‘豊かな自然’の中で育ってきました。岡崎は春日井に比べればちょっと街なので、子どもたちをどうやって自然と関わらせながら育てていくのか、その難しさも感じています」

——どのように作品をつくっていくのですか？

「締切に追われないとやれないタイプなんです(笑)。可児市の手づくり絵本大賞の締切が8月で、環境絵本の締切が9

月。子どもの宿題と競争のようにやっています。大体の構想、ストーリー、ページ割なんかは頭にあって、実際に絵本製作に取りかかってから、10日くらいで仕上げます」

——とても10日で描き上げたとは思えない完成度の高さですね。本当に絵を描くこと、絵本をつくるのがお好きなんですね。

「でも、まだまだ余裕があれば差し替えたいと思っているページもあるんですよ。家族からアドバイスをもらったり、時にはダメ出しされたり(笑)。絵本をつくることは、家族とのふれあいでもあります」

他にも、『子どもの本研究会』『手づくり絵本金のりんご』の活動、小学校で読み聞かせボランティア、PTAの絵のサークルなど、絵と本とこどもに関わる活動に取り組んでいらっしゃるそうです。会場に展示してあった、緑丘小PTA作『わたしたちの六斗目川』という布絵本も、都築さんが構想を練り、PTAのお仲間みなさんと制作されたとか。こちらもとても素晴らしい絵本です。ぜひみなさん、一度手にとってご覧になっていただきたいと思います。

これからも、きっとたくさんさんの絵とお話を紡いでいかれるでしょう。次の作品もとても楽しみです。(Rich&1000)



平成23年度 あいち環境絵本入選者一覧

【一般の部】

賞名	作品	受賞者
大賞	もりのおくりもの	神戸洋美 藤井章江
優秀賞	こぐまのべべあ	甲村恭子
	モエちゃんちのいきものマンション	安藤邦緒
	なんにもないおか	西井彰範
入賞	ぼくちのなつのにわ	都築美佳
	ちきゅうからのおてがみ	久住 悠
	春までいいよ	延永治子
	あおいほし	吉野陽香
	きれいなうみ	清田啓子

【子どもの部】

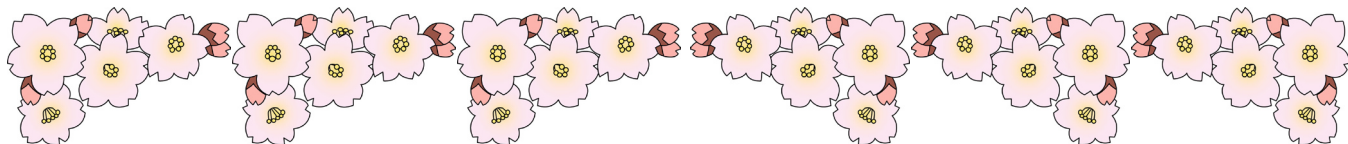
賞名	作品	受賞者
大賞	へっちら	鬼頭真優
優秀賞	カエル	今村結芽 今村駿斗
	笑顔のクローバー	中村春菜



3月・4月 りぶらイベントガイド

催しの予定は変更になることがあります。詳細は主催者へお問い合わせください。

日 時	イベント名	料 金	問合せ先
3月3・10日（土） 10～11時半	岡崎むかし館企画展関連イベント 「挑戦！家族であられ炒り」	5家族 抽選	中央図書館 23-3111
3月4日（日） 10時～	海外体験発表会 「海外よもやまばなし」	無料	佐藤 58-6298
3月4日（日） 14～16時	ワールドレクチャー（インド） 「日本人の知らないありふれたインドの日常」	18人 抽選	りぶら国際交流センター 23-3148
3月4・11日（日） 10～12時	女性のための健康講座（託児つき）	無料 60人	文化活動推進課 23-6222
3月6日（火） 10～11時半	寺子屋☆脳さらり 認知症予防の脳トレーニングなど	先着30人 当日会場へ	長寿課 23-6837
3月6・13（火） 10～12時	私を元気にする講座（2回コース） 「心地よい人間関係を築くための コミュニケーション方法を学ぶ」	女性30人 抽選	文化活動推進課 23-6222
3月9日（金） 13時30～90分	心も体もリフレッシュ♪ 「ゴスペル 昼クラス体験会！」 お子さん連れママ大歓迎	無料	ワンボイス岡崎 090-8132-0120
3月9日（金） 10～14時	地域市民セミナー “実践の場” 「ひざかけづくり」	無料	市民の気持ち研究会 090-8136-1680
3月12・19・26 （月）14～16時	ことばの教室・スペイン語（初心者向け）	電話で 申込み	りぶら国際交流センター 23-3148
3月10日（土） 13～15時	Vivaおかざき！！ 「外国人住民のための防災講座」	40人	Vivaおかざき！！ Viva_okazaki@yahoo.co.jp
3月12日（月） ①9時30～12時 ②13時30～16時	シニア向けパソコンカルチャークラブ 体験教室	各回 10人	（株）岡崎情報開発センター 84-5111
3月13日（火） 10～11時半	お手玉作り、お手玉あそび	無料	あいちお手玉の会 080-3076-1754
3月16日（金） 第1部15時～ 第2部17時半～	今を楽しむ！「悠々自適セミナー」 第1部：テーマ別セミナー 第2部：久野誠&小高直子トークショー	無料	（株）中日アド企画内 「悠々自適セミナー」事務局 22-5458
3月17日（土） 10～12時	アンコール市民講座 「一緒に楽しむ心とからだの健康講座」	無料 40人	文化活動推進課 23-3110
3月17日（土） 14～16時	龍村式指ヨガセミナー	2,800円	キラキラCLUBおかざき 090-9946-3176
3月18日（日） 14～16時	アンコール市民講座 「家康と鬼の本多作左衛門」	無料 40人	文化活動推進課 23-3110
3月18日（日） 10時～	りぶらいきものみつけ隊 杉坂美典先生特別講演「蝶のおはなし」	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
3月19日（月） 10～12時	アンコール市民講座 「岡崎城 大手門と城下」 ～中・近世岡崎城の成り立ちとその意味～	無料 40人	文化活動推進課 23-3110



日 時	イベント名	料 金	問合せ先
3月19日（月） 14～16時	アンコール市民講座 「人生バラ色のこつ」	無料 40人	文化活動推進課 23-3110
3月24日（土） 10時～12時	女性のための法律相談 「知っておきたいDVの法律知識」	女性60人 抽選	文化活動推進課 23-6222
3月25日（日） 10～11時50分	健康・開運エクササイズと 仙骨ウォーキング	2,800円	キラキラC L U Bおかざき 090-9946-3176
3月31日（土） 13時半～15時半	ひこ・田中氏講演会 「子どもの物語と私たちができること」 ～震災の後、何故みんな本を送ろうとしたのだ ろう～	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
4月1日（日） 10時～	りぶらいきものみつけ隊 いきもの観察	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
4月6日（金） 14～16時	地域市民セミナー “しゃべり場” 話してみよう聞いてみよう ‘シニアの暮らし’ ‘ウォーキングの楽しさ’	無料	市民の気持ち研究会 090-8136-1680
4月10日（火） 10～11時30分	お手玉作り、お手玉あそび	無料	あいちお手玉の会 080-3076-1754
4月13日（金） 10～14時	地域市民セミナー “実践の場” 「ひざかけづくり」	無料	市民の気持ち研究会 090-8136-1680
4月17日（火） 14時～	岡崎市生涯学習シンクタンク	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
4月19日（木） 14時～	「シネマ・ド・りぶら」映画上映会 『バルカン超特急』	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
4月22日（日） 9時45～11時45分	健康・開運エクササイズと 仙骨ウォーキング	2,800円	キラキラC L U Bおかざき 090-9946-3176

イベント名	日 時	問合せ先・料金など
やさしい古文書講座	▶期間 4月～平成25年3月の原則毎月第2・第4日曜日（初回は4月15日） 13時30分～15時30分（24回コース） ▶内容 主に三河地方の江戸時代古文書を教材として、読み方と地域の歴史を学ぶ ▶講師 幡豆町史編さん委員会調査協力員山下廉太郎氏、新編知立市史編さん係安藤幸子氏	美術博物館 電話 0564-28-5000 ▶定員：80人（抽選。初参加者優先） ▶料金：3,000円 ▶申込方法：3月18日（日曜日）必着。 はがきに申込共通項目、受講歴の有無を記入し、〒444-0002 市内高隆寺町字峠1番地 美術博物館「やさしい古文書講座」係へ。 【申込共通項目】参加者全員の郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・電話番号。学生は学校名と学年も記入。
セラの英会話講座	4月～平成25年3月 ▶金曜日夜間＝中級 ▶土曜日午前＝入門・初級・中級	28,000円（40回分）：3月10日（土）までにEメール okazakieikaiwa@gmail.com で申込。 セラ・リネカー：080-5296-3386
家庭教育関連のアドバイザー養成講座説明会	3月4日（日）・15日（木）、 4月12日（木）・22日（日）・26日（木） 10時～11時30分	ファクス（45-4748）、Eメール yamamoto@kateikyoiku.net で申込。 NPO全国家庭教育支援センター：北川 45-5802
ジャパンタイムズ時事英語学習会	毎週土曜日 9時10分～10時40分	月4,000円：電話、ファクスで申込。 杉浦 43-6812



りぶら中央図書館情報

図書館では人気の高い図書の寄贈をお願いしています！

東野圭吾、湊かなえ、東川篤哉などの人気作家の著作は、新刊が発売されると同時に多くの予約が入ってきます。予約数 1 位の作品では概ね予約件数が 400 件を超えている状況です。1 冊の図書でこの件数の予約に対応しようとすると予約が終了するのは十数年後になります。このため、図書館では予約の多い本は複数冊用意して、なるべく早くお読みいただけるようにしています。ちなみに中央図書館と市民センター図書室等を合わせて 20 冊を限度に購入しています。しかし、昨今の財政状況の悪化により図書館の資料購入予算も年々厳しくなっており、複本購入数の見直しも検討せざるを得ません。

そこで、図書館では、これらの人気本を寄贈していただくようお願いしています。図書館利用者の中にも、人気本は既にご自分で購入して読まれたという方が多くおられます。読み終わられてご不用となった本がありましたら、是非、ご寄贈ください。

寄贈の受付は 2 階ポピュラーライブラリーのコンシェルジュ席または、1 階レファレンスカウンターで行っています。

なお、図書館ホームページに予約ベスト 50 が掲載されていますので、参考にしてください。

→ http://www.library.okazaki.aichi.jp/tosho/asp/yoy_top50_w.asp



レファレンス事例集

昨年の 3・11 東日本大震災から 1 年が経ちます。岡崎市立中央図書館では、震災後、以下のようなレファレンスが少し増えました。市内の古い地図については定番レファレンスでもあります。

質 問	液状化現象が心配なので、岡崎市の地盤や地質に関連した資料や古い地図がみたい。
回 答	<p>■地盤・地質に関しては参考資料①～④を紹介。</p> <p>■古い地図は参考資料⑤～⑦を紹介。</p> <p>古い地図は岡崎空襲で焼失しているため少ない。⑤は昭和 33 年以降の所蔵がある。⑥は大正 12 年～平成 6 年の地形図がある。⑦は明治～昭和の岡崎の地図見本であり、必要に応じて現物を閲覧可能。</p> <p>【参考】江戸時代の絵地図が掲載されている⑧⑨がある。</p> <p>⑧は江戸時代の絵地図の掲載がある。⑨は付録に「三河国元禄国絵図」(1696 年)、「三河国正保国絵図」(1644 年)がある。いずれも細かい地形などまではわかりにくい。</p>
プロセス	キーワード「液状化現象」「地盤」「地質」で検索し、岡崎関連の記述がある資料を紹介。地図は、市内細部は住宅地図、市全体は地形図にて確認。
参考資料	<p>①『岡崎市の地質・地盤』池田芳雄 / 著 (A0455/ オ)</p> <p>②『新編 岡崎市史 14 自然』新編岡崎市史編さん委員会 (A0233/ シ)</p> <p>③『愛知県の地質・地盤 その 3』愛知県防災会議地震部会 (A450/ ア)</p> <p>④『岡崎平野南部 地盤高図』建設省国土地理院 (AP293)</p> <p>⑤『岡崎市』(住宅地図)(A293/ オ)</p> <p>⑥『愛知県 1/2.5 万図歴地形図 No.1』(1F 地図コーナー平置き)</p> <p>⑦『岡崎の地図案内』(1F 地図コーナー平置き)</p> <p>⑧『岡崎古絵地図集』岡崎市史編さん委員会 (A0233/ オ)</p> <p>⑨『愛知県史 資料編 18 西三河』(A201/ ア)</p>

りぶら映像アーカイブス

岡崎市立中央図書館 2 階の視聴覚ブースでは、ビデオや DVD などの館内資料だけでなく、年代別にアーカイブス化された岡崎に関する貴重なニュース・番組映像を視聴することができます。

懐かしい映像のなかに、ひょっとして、あなたも登場しているかも？！

紹介映像⑮

「おかざき再発見 !!
おかざき今昔～
花と産業科学大博覧会
1・2」
岡崎市
放送年：平成 9 年
(1997 年)



昭和 38 年 4 月 1 日から 5 月 10 日にかけて、岡崎公園周辺で開催された「花と産業科学大博覧会」を記録した映像。この博覧会を覚えている方はいますか？

人気コーナーの一つは、「電波と電信電話館」のテレビ電話。当時の受話器を片手に電話を楽しむ人々の姿は、どこか微笑ましい光景です。「自動車近代工業館」には、今では懐かしい「パブリカ」が、華々しく展示されていました。

また国道 1 号線の岡崎公園付近に架かる歩道橋ができたのも、この時期でした。

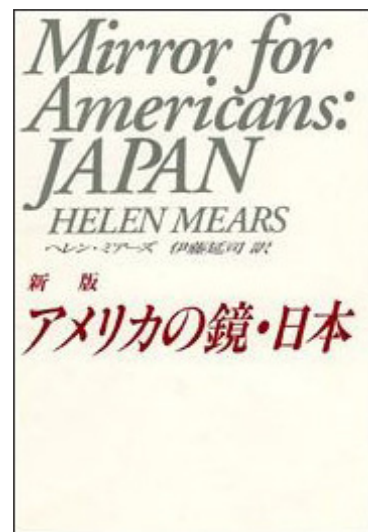
当時の最新技術や地域の物産を紹介する陳列館 20 館が整備され、40 日間で入場者は 80 万人にのぼったそうです。



私の一冊 vol.15

『アメリカの鏡・日本』

ヘレン・ミアーズ著 アイネックス



私が通った中学校では、登校後 10 分間の読書の時間というものがあり、否応なしに 3 年間、休みや特別行事のある日以外は毎日読書をしました。そして誕生月には感想文提出というおまけまで。おかげで本を読むという行為が乱読ながら習慣となり、この数十年間の間に一体何冊の本を読んだことでしょう。



横山厚子 (よこやまあつこ)

りぶら国際交流センターの職員として日々、外国人支援や国際理解推進業務に携わっています。LICC として認知されてきてはいますが、より多くの岡崎市民、外国籍市民の皆さんに活用していただけるセンターを目指し奮闘中です。職場に図書館！この膨大な蔵書がマイ本棚代わり。これって、すごいことですよ。

乱読といえども自分なりの法則はあり、引っかけたテーマについて次から次に関連本を読んでいくのが私流。ここに紹介する「アメリカの鏡・日本」もそんな中で出会った 1 冊。イラク戦争に関する書籍を読みあさっていた頃、なぜアメリカは戦争をするのか、という昔からの私の疑問により明確に答えを導いてくれたのがこの本でした。

著者は戦後 GHQ のメンバーの一人として来日しマッカーサーの元で働いた歴史学者ヘレン・ミアーズ。1948 年に書かれたこの著書の中で彼女は、パールハーバー以来、アメリカ人は“日本人は好戦的で野蛮な民族”だと信じ込まされてきたが、その歴史を振り返ると日本は平和主義的な国家であった。国際社会において欧米先進国の行動に従い、西洋の原則を守るよう教育され、その結果としての戦争に至る経緯は我々欧米諸国自身の行動、姿が映し出された鏡と言えるもの、と言っています。アメリカの間違ひは、自分たちとは

異質な文化を「間違い」と断じ、それを自分たちの思うように「改革」しようとしているところにあるとも。

米国側の人間でありながら、透徹した公平な歴史認識には驚かされると共に、その勇気と反省の姿勢に深く感動します。当然、占領下の日本で発禁処分となり、95 年によりやく出版された貴重本。現在、図書館の蔵書の 1 冊としてリファレンスの棚に並んでいます。

正しい歴史認識の必要性を訴えているこの本は、国家間だけでなく、人間同士のあらゆる交流における姿勢の大切さも教えてくれています。ぜひ、手にとってみてください。



平成24年2月4日 外国人が日本語の歌を歌う のど自慢大会 Vol.2 レポート

2/4(土)、「りぶらホール」にて「外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会」が開催されました。去年に始まり2回目となった今大会、今年は計12名の外国人の方が参加して下さいました(内2人は体調不良のため欠場)。

大人っぽい13歳、陽気な金髪(カツラ)外国人、派手なステージ衣装を身に包む人 etc、見ている飽きない面々です。主な参加者は中国、韓国、ブラジルの方々。流暢な日本語で歌っている彼らは、外見が日本人に似ていることも相まって日本人さながらでした。そんな彼らも歌い終わった後のコメントは...(笑)。新井伸子さんの親しみのある和やかな司会で、出演者の楽しいお話を引き出していただきました。



↑司会：新井伸子さん



出演者・曲目リスト&結果一覧

No.	氏名	出身国	予選曲目	決勝曲目	結果
1	ソン・ヨンイン	韓国	また、明日	ほうき星	参加賞
2	オカモト カウアン	ブラジル	Lovin'Life	真夜中のシャドーボーイ	欠場
3	トウカイエン	中国	ありがとう	Dear	審査員賞
4	トクナガジュリ	ブラジル	story	Go Go Summer	参加賞
5	フルカワヨシタカ	ブラジル	酔歌	北の漁場	入賞
6	イケヤヨシミ	中国	あなたの妻と呼ばれたい	トーキョー・トワイライト	欠場
7	リ・アイ	中国	小さな恋のうた	風の記憶	参加賞
8	ダニエル・マクドナルド	ニュージーランド	芽衣子の夢は夜開く	ハイスクールララバイ	参加賞
9	ワタナベ・チナ	中国	すずめの涙	天城越え	優勝
10	カヨウ・マルセロ	ブラジル	逢わずに愛して	愛燦燦	入賞
11	フ・ケイケイ	中国	未来へ	花のように	参加賞
12	タマヨセ・ジョナス・カネカズ	ブラジル	瞳を閉じて	Ti Amo	入賞



決勝の審査中！ 真剣です！

【審査員】

柏木典子：岡崎音楽家協会副代表、
 岡崎市 PTA コーラス連盟顧問
 米津 真：岡崎市文化芸術部部長
 香田ともこ：NPO 岡崎都心再生協議会
 山田美代子：りぶらサポータークラブ
 鶴田 博：ア・グローバルコミュニティ・
 オカザキ

栄えある優勝者は…

「音程」「曲の表現力」「日本語の発音」「パフォーマンス」「声量」の5つの評価基準を基に繰り広げられた熱戦。総勢10名の中から見事優勝に輝いたのは、ワタナベ・チナさん(中国)でした。目を惹く緑のステージ衣装と、それに負けない歌唱力で優勝を勝ち取りました。そして審査員賞を獲得したのはトウ・カイエンさん。「歌の魅力は楽しくリラックスできること。楽しい趣味を持つと長生きできる」と語る彼女からは、確かにエネルギーがあふれていました。

残念ながら受賞とならなかった8名の方々も、素晴らしい歌とパフォーマンスを披露して下さいました。特に、決勝進出者は皆甲乙つけがたい実力者たち。審査員の方たちもさぞ悩んだのではないのでしょうか。

日本人を考える

中でも特に私の印象に残ったのは、「よろしくお願いします」「ありがとうございました」と深々と頭を下げる、あるひとりの出演者。大した事ではありませんが、この当たり前の事が出来る日本人がどれだけいるのでしょうか。私は彼の中に日本人の心を見た気がします。日本人の私たちよりも、外から来た彼らの方が日本の事を知っているかもしれません。そんな事を気づかせてくれた大会でした。

惜しむらくは、せっきくの決勝戦で観客が減ってしまったこと。お目当ての人が出なくなっては仕方が無いかもしれませんが、最後まで残って応援してただけるとよいと思いました。

楽しい時間をありがとうございました!!



優勝
ワタナベチナさん

審査員賞
トウカイエンさん



入賞
カウマルセロさん

入賞
フルカワヨシタカさん



入賞
タマヨセ・ジョナス・カネカズさん



決勝審査の間、岡崎オカリナ合奏団の演奏を楽しみました。



まちびとボランティアの皆さん

市民活動団体紹介

あいちお手玉の会

「あいちお手玉の会」は、平成23年5月に活動を始めました。代表の井上勝子さん(77才)は、30年来関節症を患いながら、98才になるお母様の介護をされています。

井上さんが「お手玉」に出会ったのは、「りぶら」で開催された認知症予防の講座でした。持病と介護でほとんど外に出られなかった井上さんなので、図書館もりぶらの存在も、それまで全くご存じなかったそうです。

講座の中で折り紙やお手玉に触れる機会があり、「そういえば昔やったな」と思い、図書館で「お手玉」について調べてみると、いろいろな効能があることがわかり、「日本お手玉の会」があることがわかりました。そして、とるものもとありあえず、「日本お手玉の会」が毎年1回開催している「全国お手玉遊び大会」(愛媛)に参加。その後、神戸や信州の研修会に参加して研鑽を積みました。

こうして動いている内に、持病も改善され言葉が出にくかった母も、お手玉に触れることで外にも出られるようになりました。そして、同級生に声をかけ、「あいちお手玉の会」を発足させ、現在「りぶら」の創作室で毎月活動を行っています。

「りぶら」での活動は、「お手玉」の効能を説明し、作り方や遊び方を教え、参加者との絆を深めています。最近では、幼稚園や老人ホーム、地域交流センターや国際交流センターなどからお声をいただき、お手玉遊びの普及を行っています。また、第3日曜日(2:00～3:30)には「りぶら」のむかし館で実演し

ていますので、ぜひ見に来てください。

強い衝動に駆られ「あいちお手玉の会」の活動を推進している井上さんですが、後継者の育成に悩んでいます。「りぶら」を拠点に、一緒に活動してくださる方を募集しています。興味がありましたら、是非お問い合わせください。(取材:戸松)

【今後の活動予定日】

3/13(火)・4/10(火)・5/8(火)
10:00～11:30

6/12(火)13:30～15:00

場所:りぶら創作室

問合せ:井上 080-3076-1754

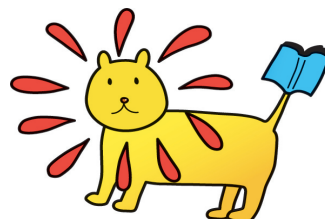


りぶらで活動する市民活動団体の紹介コーナーを設けます。活動の写真2～3枚と、800字前後の原稿を送って下さい！

りぶら周辺のお店情報を募集しています。写真2～3枚と、800字前後の原稿を送って下さい！

りぶらに関するコラムや利用者の投稿を募集しています。400字前後の原稿を送って下さい！

「Libra I on」を活用しよう！
原稿を募集しています！
原稿は info@libra-sc.jp へ。
随時受け付けています。



りぶらいおん©LSC